

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 就職実務		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 立花 匡真		実務経験	
授業の回数 16回	時間数(単位数) 32時間(2単位)	配当学年・時期 2年・前期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 1 就職活動に必要な手続きの知識や求められるスキル・能力を身に付ける 2 仕事をする上で必要な基本的な心構えやモラルマナーを身に付ける [授業全体の内容の概要] 求人情報の入手・応募の仕方、就職試験に必要な知識を身に付け、独力ですべてやれるようになる。職場で仕事を覚え、早くひとり立ちできるようにスタッフの一員として活躍するためのチームワークの重要性を学び、コミュニケーションスキルを身に付ける。 [授業終了時の達成課題(到達目標)] 1 求人情報の入手と活用、就職活動に必要な情報収集ができる 2 就職活動に必要な文書作成(履歴書・送付状・お礼状等)ができる 3 面接試験で適切な立ち居振る舞い・受け答えができる 4 職場に必要な基本的な心構え・立ち居振る舞い・言動等ができる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル)			
1. 就職情報の入手の仕方(求人票の見方) 2. 自己分析・自分の強み/弱みを知る 3. 就職試験の仕組み 4. 履歴書の書き方 5. 履歴書の書き方(続き) 6. 就職活動(会社訪問)について 7. 就職活動の流れと面接指導Ⅰ 8. 面接指導Ⅱ		9. 面接指導Ⅲ 10. 作文 11. 面接練習Ⅰ 12. HW説明会・求職者登録 13. 面接練習Ⅱ、Ⅲ 14. 新卒が働くにあたって 15. プレテスト 16. 期末試験	
[使用テキスト・参考文献]		特になし。(プリント対応)	
[単位認定の方法及び基準]		・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した配布プリント(授業補助プリント及び確認テスト)を編集した期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) ・授業態度を点数化したもの(5%)。 ・確認試験が、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。	

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉援助技術現場実習前指導		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター19年	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 2年・前期	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] ・多様化する援助の必要性に対し、クライアントと向き合い支援していく技術を実習前に把握する。 ・現代のソーシャルワークに求められている基礎的な技術の習得をグループワークの中で体験的に学ぶ。 [授業全体の内容の概要] ・主体的な学びを軸として適切な自己表現ができるよう、グループワークや振り返りを実施する。 ・事例に沿ってソーシャルワークの過程を体験する。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・援助過程のインテークからターミネーションまで求められる技術や心構えを説明できる。 ・自分の考えを大切にしながら他者の考えを理解し、活かしていく術を会得する。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1. 多様性の理解 2. グループの理解 3. ネゴシエーション 4. ファシリテーション 5. アドミニストレーション 6. スーパービジョン 7. 地域の理解 8. アウトリーチ		9. ネットワーキング 10. ソーシャルアクション 11. 社会資源開発 12. インテーク・アセスメント 13. プランニング 14. モニタリング 15. エバリュエーション・ターミネーション 16. 期末考査	
[使用テキスト・参考文献]		学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習 ミネルヴァ書房	
[単位認定の方法及び基準]		・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考査点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) ・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。	

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策Ⅴ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 名地 宙	実務経験	・病院・介護老人保健施設・デイサービス等において、ソーシャルワーカーとして勤務。ご利用者・ご家族からの相談、サービス提供、各関係専門機関との連携・調整業務を担当。 ・若者サポート支援センターにて、相談員として勤務。ご利用者からの相談、各専門プログラムの提供、就労定着支援業務を担当。	
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 専攻科2年・前期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題(到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 地域福祉論 2. 地域福祉論 3. 地域福祉論 4. 地域福祉論 5. 地域福祉論 6. 地域福祉論 7. 福祉サービスの組織と経営 8. 福祉サービスの組織と経営 9. 福祉サービスの組織と経営 10. 福祉サービスの組織と経営 11. 福祉サービスの組織と経営 12. 福祉サービスの組織と経営 13. 児童・家庭福祉論 14. 児童・家庭福祉論 15. 児童・家庭福祉論 16. 児童・家庭福祉論		17. 児童・家庭福祉論 18. 児童・家庭福祉論 19. 就労支援サービス 20. 就労支援サービス 21. 就労支援サービス 22. 就労支援サービス 23. 就労支援サービス 24. 就労支援サービス 25. 公的扶助論 26. 公的扶助論 27. 公的扶助論 28. 公的扶助論 29. 公的扶助論 30. 公的扶助論 期末考査	

[使用テキスト・参考文献]	<p>①『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』、 発行：(株) メディック・メディア ISBN978-4-89632-763-2</p> <p>②『クエスチョンバンク 社会福祉士国家試験問題解説』 発行：メディック・メディア ISBN978-4-89632-764-9</p> <p>③『目で見て覚える 社会福祉士国試ナビ 2020』 発行：中央法規 ISBN978-4-8058-5881-3</p>
[単位認定の方法及び基準]	<p>・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。 <p>2. 平常点(15%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する。(10%) ・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する(5%)。